

## 《説明会後にいただいたご意見》

### 【要旨】

過去の議会の答弁において「難しい」としていたパークゴルフ場の整備が、どのような経過で設置できるようになったのか丁寧に説明すべきである。一度立ち止まり、市民の声に耳を傾けて、誠実に対応すべきである。

パークゴルフ場の規模が大きすぎ、需要が見込めるとは思えない。眼前いっぱいに広がる葦原の風景がパークゴルフ場になることは容認できず、完成予想の絵を見れば自然公園と名乗れる公園ではない事は明らかである。

バーベキュー場は、利用者が道具を持ち込みそれぞれのスタイルで自由に楽しめるような場をメインに考えた方が良いのではないか。

どれくらいの人が希望しているのか。何故コロナ禍で困っている市民が多い今、多額の税金を使って進める必要があるのか。工事はストップし、市民の声を聞いてほしい。

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける状況下で、議会承認と契約締結を理由に、市民の税金10億円をびん沼自然公園整備のため、4コース36ホールのパークゴルフ場造成に投入することが、11万市民の理解や支持を得られると考えている市に再検討をお願いしたい。一度決定したことにとらわれることなく、情勢に合わせて柔軟に対応することを市民は求めている。

大型遊具やパークゴルフ場などを作り、市外から人をあつめることが近隣住民にとってどのような意義があるのか、にぎわい創出の目的、市民へのメリットがよくわからない。バーベキュー、キャンプ、パークゴルフなどの利益もすべて委託業者のものとなり、市民に還元されることはないのか。10億円に見合う、市民へのメリットをわかりやすく教えてほしい。

先人がこの地の歴史や立地条件を考え作った場所にパークゴルフ場や大型遊具のようなものは似合わない。この地は低地特有のわんど、葦原、釣り場などが残されており、機械を入れて壊してしまうことは簡単だが、自然が時間をかけて作りあげたものを元に戻すのには時間がかかる。原点に戻り、今ある自然を守り保護する立場に立って考えてほしい。